

Ewon Cosy+ 4G JP (EC7133N_00MA) セットアップマニュアル

▼改訂履歴

版数	発行日	改定箇所	改定内容
バージョン1.0	2025年2月18日		初版発行
バージョン1.1	2025年3月10日	p.37-38	PowerShellを管理者として実行手順に変更, 文言追記

■ご注意

- ・本書に掲載されている内容の無断転載、画像、文章の無断複製・転用を禁じます
- ・本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

目次

1. 設定の準備	
1.1 概要	4
1.2 システム構成	5
1.3 ソフトウェアのインストール	
Ecatcher	6
Ebuddy	8
2. Talk2m の設定	
2.1 Talk2m Free+ アカウントの新規作成	9
2.2 Talk2m Free+ アカウントにCosy+を追加する	11
3. Cosy+本体の設定	
3.1 Cosy+本体の電源を入れる	13
3.2 Cosy+本体の設定をする	14
3.2.1 Cosy+本体の設定をする (内蔵Webブラウザ画面(GUI))	15
3.2.2 Cosy+本体の設定をする (USB /SDカード)	24
3.2.3 DI(デジタル入力)の設定をする	27
4. リモートアクセスの確認	
4.1 Cosy+経由で接続機器へ接続する	28
4.2 接続方法	30
付録)	
1. 仕様	31
2. 外形寸法図	31
3. 各部の名称	32
4. LEDランプ	32
5. トラブルシューティング	34

関連資料は以下をご参考ください。

[関連資料 (英語)]

- [UM-0006-00 - User Manual for Cosy+ devices](#)
- [IG-0031-00 - Installation Guide for Cosy+ devices](#)
- [RG-0011-00 - Reference Guide for Cosy+ devices](#)

[関連資料 (日本語)]

- [Ewon 関連ファイル](#)

1. 設定の準備

1.1 概要

Ewon は、FA向けのリモートアクセスを提供するHMS Networks の製品ブランドです。

2001年の発売開始以来、多くの装置メーカー様とエンドユーザ様に、安全かつ簡単なリモートアクセスを提供しています。

Ewon のソリューションは、Cosy+本体と Talk2m 接続サービスという2つの主要な要素で構成されています。

Cosy+本体は、通常、制御盤内の DIN レールに取り付けられ、PLC、HMI、IPC、IP カメラなど、リモートアクセスが必要な機器に接続されます。インターネットへの接続が必要であり、有線Ethernet、Wi-Fi、または携帯電話の4Gネットワーク経由で接続できます。インターネットに接続されると、Cosy+はTalk2m に登録されます。Talk2m は、世界中に設置された VPN サーバーで構成された、Ewon の安全性、信頼性、拡張性の高い産業用VPN接続サービスです。

現場の設備や装置をリモートで監視または保守するエンジニアは、Talk2m の接続ソフトウェアである Ecatcher を使用して、ご自身のパソコンから 現場のCosy+本体へ、安全な VPN 接続を確立することができます。この VPN 接続が確立されると、パソコンが LANケーブルを介して装置に直接接続されているかのように使用できます。世界中のどこからでも、まるで現場にいるかのように設備や装置のトラブルシューティングや監視が可能になります。

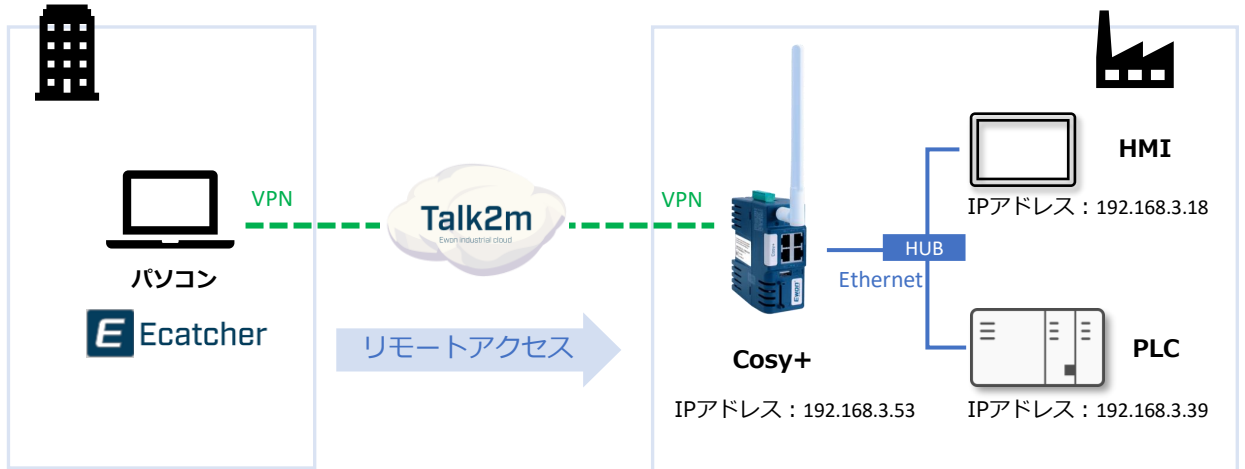
本書では、Ewon のリモートアクセスソリューションを使用して、事務所などのパソコンから、現場のPLCやHMIにインターネット経由で接続する方法を説明します。

Talkm2m とは

- 初の産業用クラウド接続サービス(2006年～)
- 国際基準 ISO27001認証取得
- 世界中に40以上のサーバー
- 178か国で 500,000台以上の Ewonゲートウェイが使用されている
- 年間 800 万以上の VPN 接続
- 米国で 9 年連続で「リモートマシンアクセス」ソリューションのNo.1に選出
- 無料で利用可能

1.2 システム構成

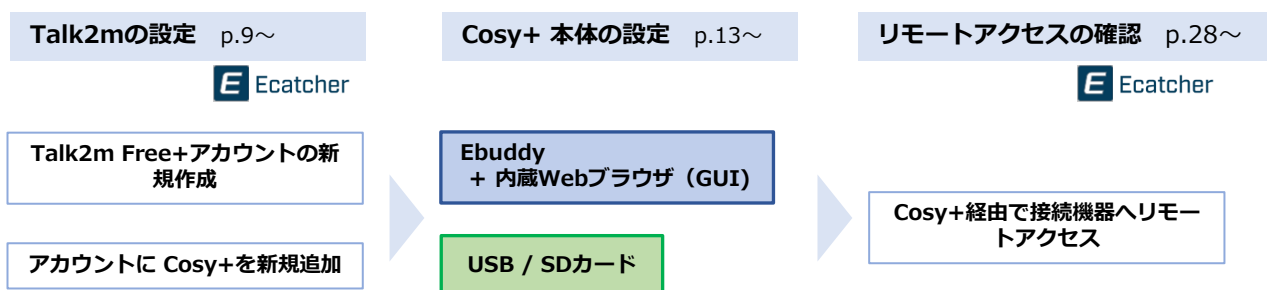
本書では、以下のシステム構成を例として説明します。



■ 準備するもの

Ewon Cosy+	EC7133N_00MA	Cosy+ 4G JPモデル
パソコン		Windows10以上
ソフトウェア	Ecatcatcher (イーキャッチャー)	Talk2m 接続ソフトウェア *次ページ参照
ソフトウェア	Ebuddy (イーバディ)	Cosy+設定用ソフトウェア *次ページ参照
Ethernetケーブル		Cosy+設定時に使用
USB / SDカード		USB / SDカードを使用して設定する場合のみ
SIMカード	標準SIM(25mmx15mm)	ご契約のSIMカード及びAPN情報
その他		(接続機器に応じてパソコンへインストール) PLCエンジニアリングソフトウェア、 表示器画面作成ソフトウェア、など

■ 設定の流れ



1.3 ソフトウェアのインストール -Ecatcher

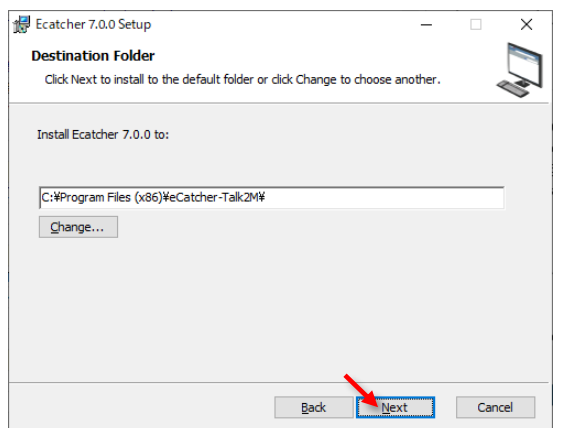
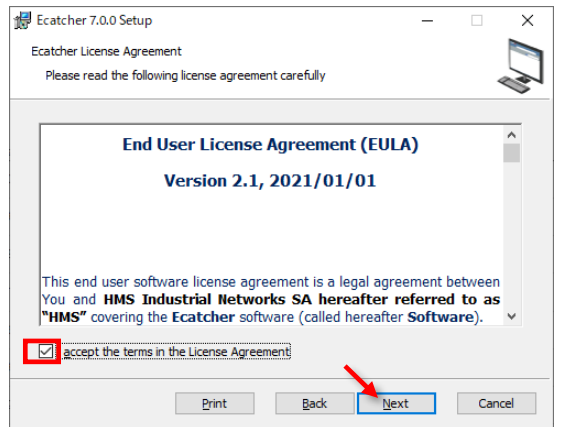
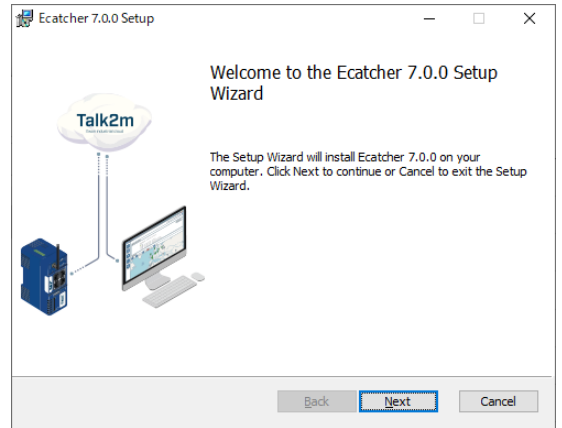
1 以下URLよりダウンロードしてください。

<https://www.hms-networks.com/support/general-downloads>

2 Ecatcher をインストールします。

セットアップウィザードに従い、インストールします。

Ewon applications			
File	Filetype	Size	
● i4scada 3.9 Setup	HTML	143.0 bytes	Download
● Ebuddy	MSI	4.0 MB	Download
● Talk2m Connection Checker	MSI	2.1 MB	Download
● Ecatcher	MSI	60.4 MB	Download
↳ ● Ecatcher - Release notes	TXT	27.0 KB	Download



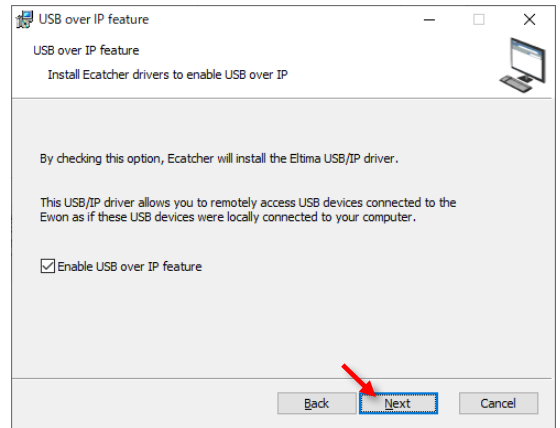
ダウンロードが始まらない場合や、エラーが発生する場合は、ファイアウォールやプロキシでアクセスがブロックされている可能性や、アンチウイルスソフトでブロックされている可能性があります。

異なる環境（Wi-Fiや有線）での接続をお試しいただくか、または社内ネットワーク管理者にご確認ください。

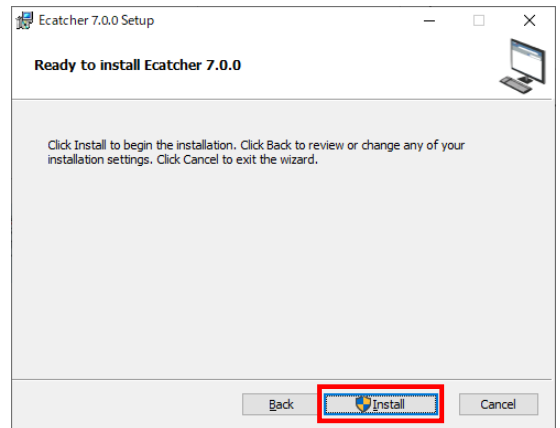
(参考) Ecatcher Online Help
-[Endpoints for computers and tablets](#)



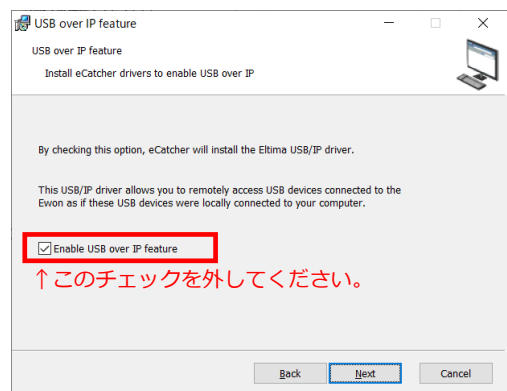
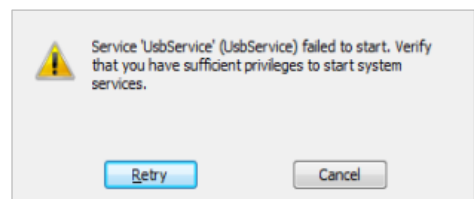
このオプションをチェックすると、Ecatcher は Ethernet USB/IP ドライバーをインストールします。この USB/IP ドライバーを使用すると、Ewon に接続された USB デバイスに、あたかもこれらの USB デバイスがコンピューターにローカルに接続されているかのようにリモートでアクセスできます。



[Install]をクリックして、インストールは完了です。



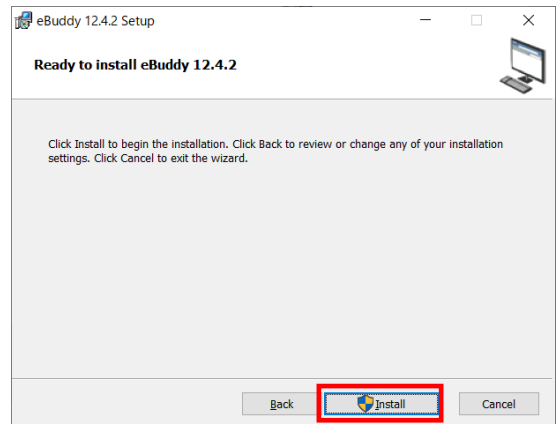
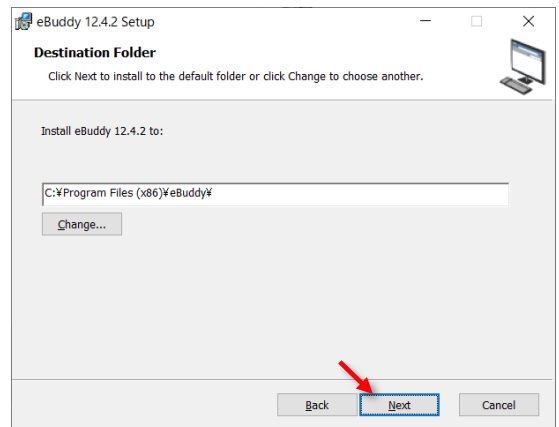
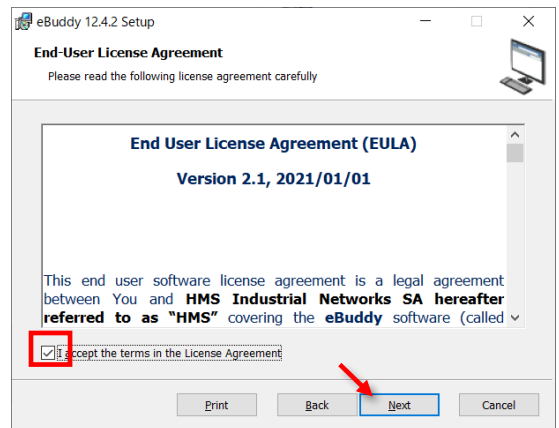
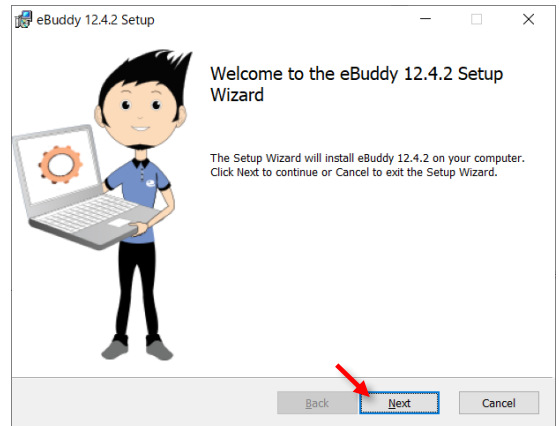
Ecatcherのインストール時に、右のようなUSBエラーが出る場合は、右下図の画面でチェックを外してから、次へ進んでください。



1.3 ソフトウェアのインストール -Ebuddy

3 Ebuddy をインストールします。

セットアップウィザードに従い、インストールします。



[Install]をクリックして、インストールは完了です。

2. Talk2mの設定

2.1 Talk2m Freeアカウントの新規作成

- 1 Ecatcherを起動し、[Free+アカウントの作成]をクリックします。



- 2 アカウントを作成します。

項目	内容
アカウント名	作成したいアカウント名を入力し、[利用可能性の確認]で使用可能か確認します。 (英字・数字・記号“-” “_”)
ユーザ名	デフォルトは「admin」が入力されます。 必要に応じて変更してください。 1つのアカウントに、複数のユーザを作成することが可能です。 (英字・数字・記号)
パスワード	8字以上 (英字・数字・記号の2種類以上)

- 3 必要な情報を記入して、[利用規約に同意]をクリックします。
新しいTalk2m Free+ アカウントが作成されます。



右図のエラーが出る場合はファイアウォールやプロキシでアクセスがブロックされている可能性があります。
ネットワーク管理者にご確認ください。

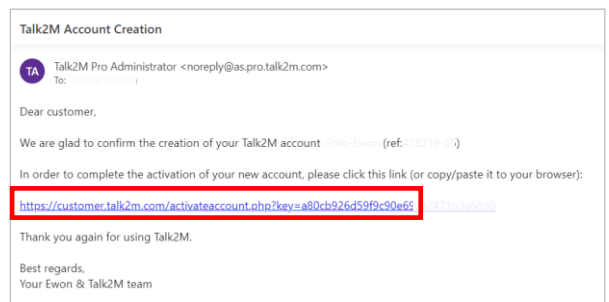
Ecatcherをプロキシ経由で接続する方法は、次ページをご覧ください。



- 4 アカウントの作成が完了したことを示すメッセージが表示されます。
登録したメールアドレスにメールが送信されます。

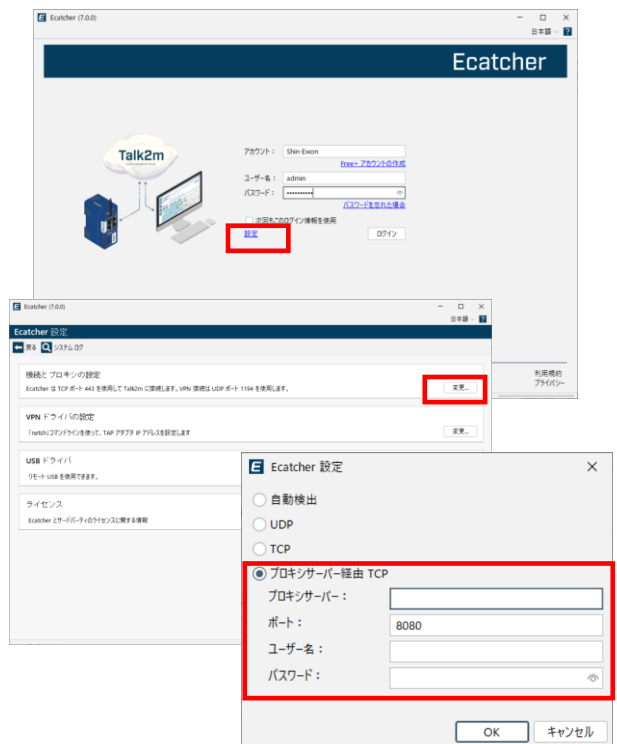


- 5 Talk2m から送信されたメールのリンクをクリックすると、アカウントが有効になります。
これでアカウントの作成は完了です。



! Ecatcherをプロキシ経由で接続するには、ログイン画面で[設定]をクリックします。

[接続とプロキシの設定]をクリックし、[プロキシサーバ経由TCP]をチェックして、各項目を設定します。



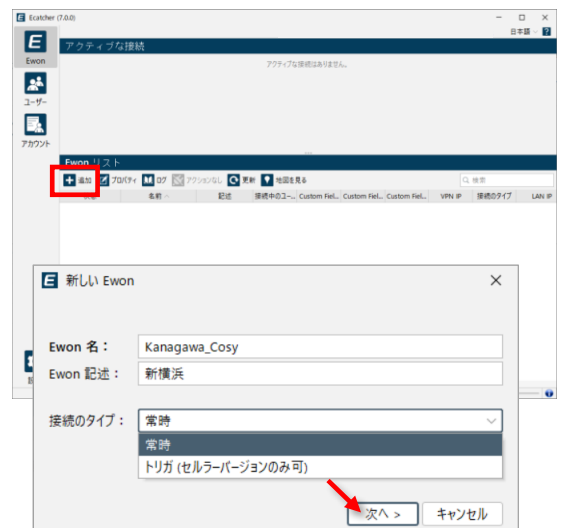
2.2 Talk2mアカウントに、Cosy+を追加する

- 1 Ecatcherから、Talk2mアカウントにログインし、Ewonリストの[追加]をクリックします。



- 2 新規で登録する Cosy+の情報を入力します。

項目	内容
Ewon名	アカウント上でCosy+を識別するための名前 (英字・数字を推奨。日本語も入力可)
Ewon記述	補足など。(入力は任意。日本語可)
接続のタイプ	「常時接続」 (4Gモデルのみ「トリガ」を選択可)
Custom Field 1~3	補足など。(入力は任意。日本語可)



- 3 [作成]をクリックします。



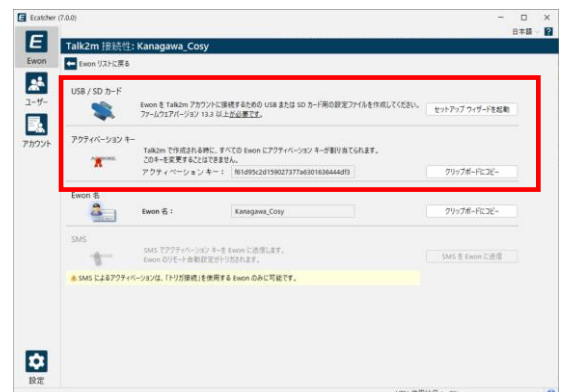
- 4 Cosy+本体の設定方法を選択します。

①内蔵Webブラウザ設定画面 (GUI)

→パソコンとCosy+を直接LANケーブルで接続し、Webブラウザの設定画面でアクティベーションキーを設定する (詳細⇒ 3.2.1へ)

②USB / SDカード

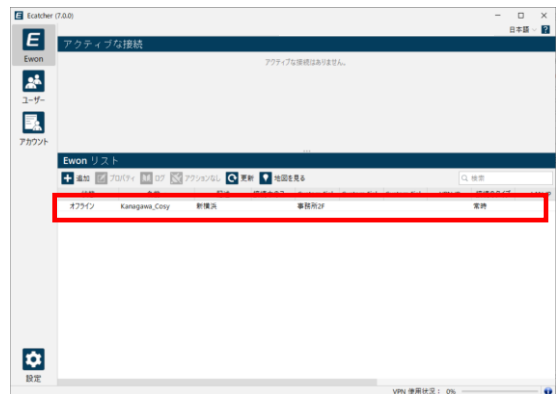
→Ecatcherから、USB / SDカードに設定を書込み、Cosy+本体に装着する (詳細⇒ 3.2.2へ)



5 [Ewonリストに戻る]をクリックします。



6 Ewonリストに新しいCosy+が登録されました。
(状態は「オフライン」です。)



ここまで、Ecatcherの設定が完了したら、
Cosy+の本体を設定します。

i ウィンドウの右上にある[言語選択リスト]を使用して、言語を変更することも可能です。
(新しい言語の適用には、Ecatcher を再起動する必要があります。)

i [?] から、「[Ecatcher Online Help](#)」へリンクします (英語のみ)



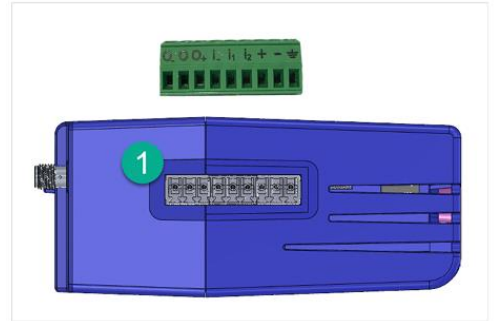
3. Cosy+本体の設定

3.1 Cosy+本体の電源を入れる

Cosy+本体上部に、配線した電源コネクタを差し込み、電源を入れます。

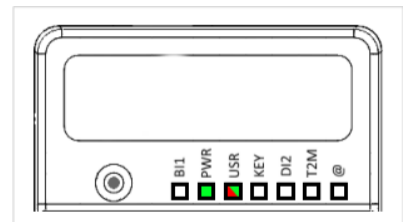
緑色の電源コネクタは購入時に同梱されていますが、電源DC12-24Vはお客様にてご用意をお願いします。

電源コネクタの仕様は以下の通りです。



項目	仕様
1	DO_COM MOSFETトランジスタのエミッタに接続される出力信号 (0Vグランド)
2	DO 出力信号
3	DO_VDC 外部ブリドドライブ電源のコモン (+12~+24 Vdc)
4	DI_COM 入力のグランド (絶縁)
5	DI1 入力信号1
6	DI2 入力信号2
7	+ 12~24V
8	- 0V
9	アース アース

正常に電源が接続されている場合、Cosy+本体の[PWR]ランプが緑色に点灯します。



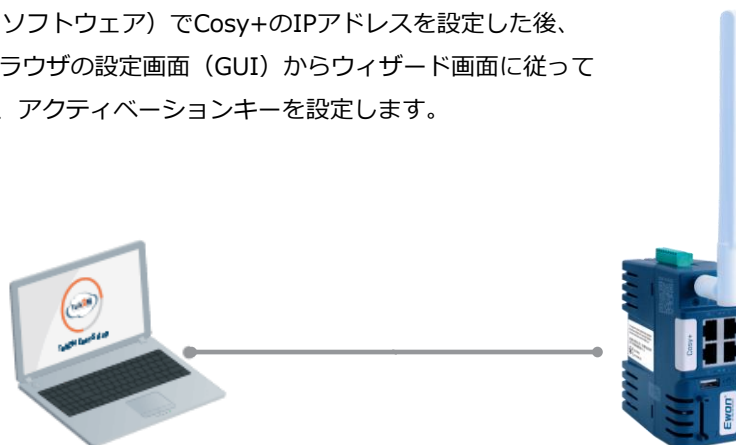
3.2 Cosy+本体の設定をする

Cosy+本体の設定は、2つの方法があります。
以下のどちらかの方法で設定をしてください。

①内蔵Webブラウザ設定画面 (GUI)

⇒3.2.1 Cosy+本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

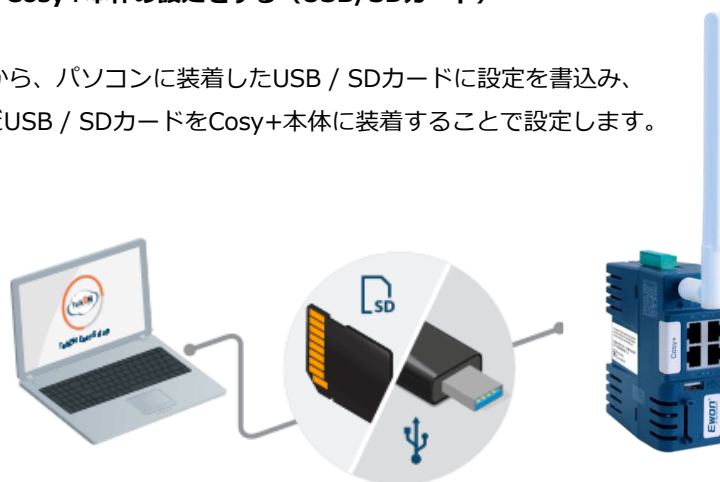
パソコンとCosy+を直接LANケーブルで接続し、Ebuddy (設定用ソフトウェア) でCosy+のIPアドレスを設定した後、Webブラウザの設定画面 (GUI) からウィザード画面に従って設定し、アクティベーションキーを設定します。



②USB / SDカードを使用する

⇒3.2.2 Cosy+本体の設定をする (USB/SDカード)

Ecatcherから、パソコンに装着したUSB / SDカードに設定を書込み、書き込んだUSB / SDカードをCosy+本体に装着することで設定します。



3.2.1 Cosy+本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する
場合は、p.24へ

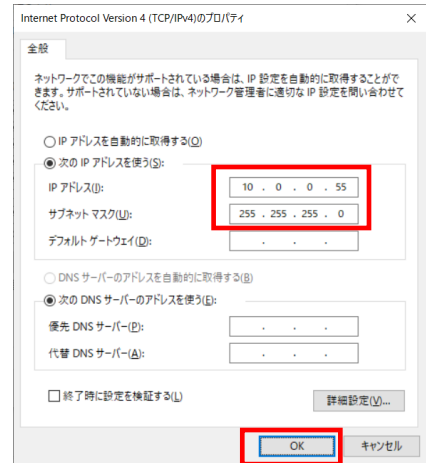
1 パソコンのIPアドレスを変更する

Cosy+と接続するため、ご使用のパソコンのIPアドレスを、Cosy+のデフォルト(初期設定)のIPアドレスと同じネットワークセグメントに合わせます。

Cosy+のデフォルトのIPアドレスは、以下です。

- ・ IPアドレス : 10.0.0.53
- ・ サブネットマスク : 255.255.255.0

本書では、例として、
パソコンのIPアドレスに
「10.0.0.55」を設定しています。



i パソコンのIPアドレスの設定方法

- [コントロール パネル]を開く。
タスク バーの [スタート] ボタンをクリック
→[Windowsシステムツール]を展開
→[コントロールパネル]を開く。
- [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリック。
- [アダプターの設定の変更]をクリック。
- [ネットワーク接続]に表示されたLANアダプターを選択して右クリックして[プロパティ]をクリック。
- [Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]を選択。



3.2.1 Cosy+本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する場合は、p.24へ

2 Ebuddy (Ewon本体設定ツール)を起動する

リストに表示されたCosy+を選択します。
(表示されない場合は、[Refresh]をクリックしてください。)

[Set IP]をクリックして、Cosy+ 本体のIPアドレスを変更します。

本体のシリアルナンバーが合っているか確認して、[次へ]をクリックします。

接続機器と同じIPアドレスのセグメントになるように、Cosy+のIPアドレスを設定します。

本書では、以下を例にしています。

Cosy+ : 192.168.3.53
PLC : 192.168.3.39
HMI : 192.168.3.18

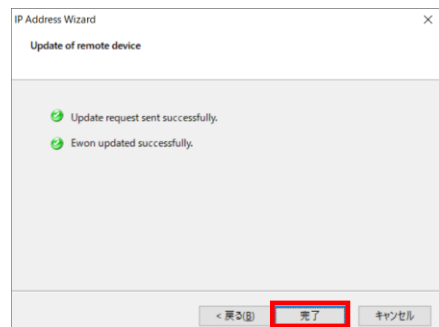
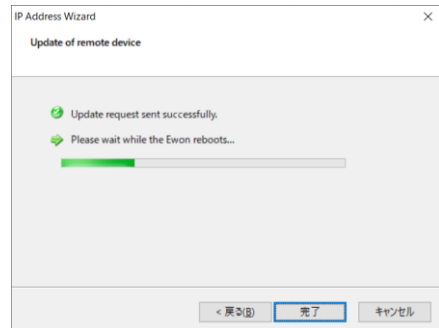
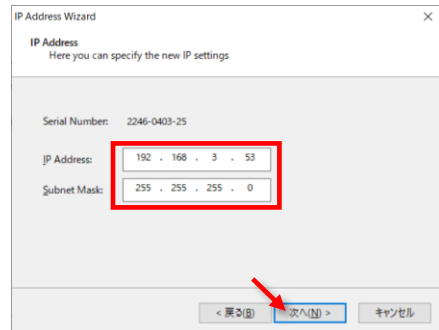
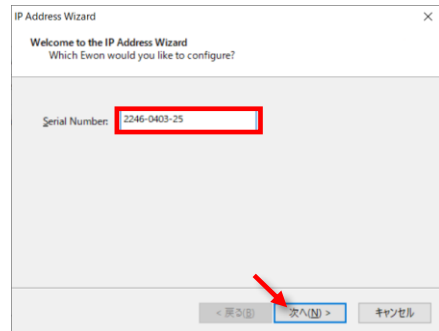
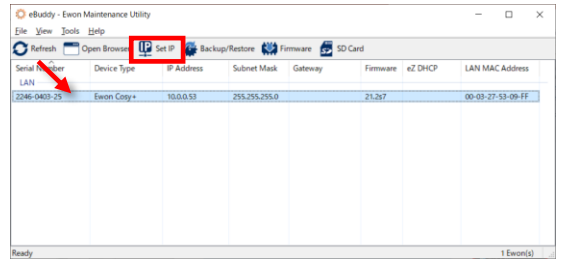
構成の詳細は、p.5を参照ください。

[次へ]をクリックして、設定を書込みます。

書込みには、少々時間がかかります。
書込み中は [完了] を押さないでください。

書込みが完了後、[完了]をクリックすると、Cosy+が再起動します。

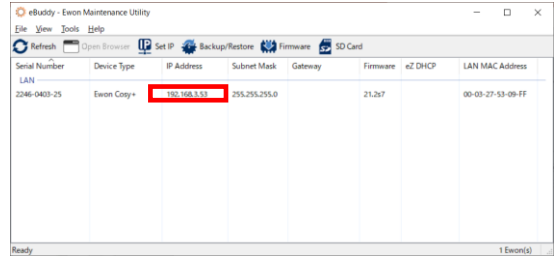
再起動後に、新しいIPアドレスが有効になります。



3.2.1 Cosy+本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する場合は、p.24へ

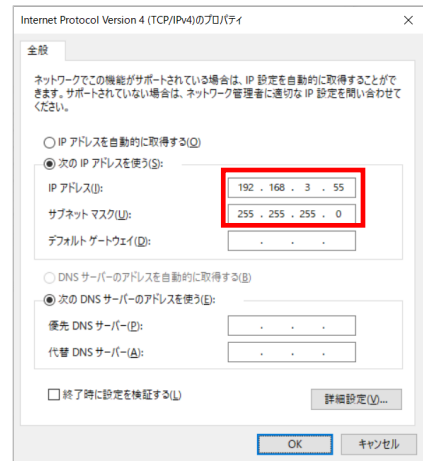
変更後のCosy+のIPアドレスを確認します。



3 再度、パソコンのIPアドレスを変更します。

任意のIPアドレスに変更したCosy+と接続するため、再度ご使用のパソコンのIPアドレスを変更します。

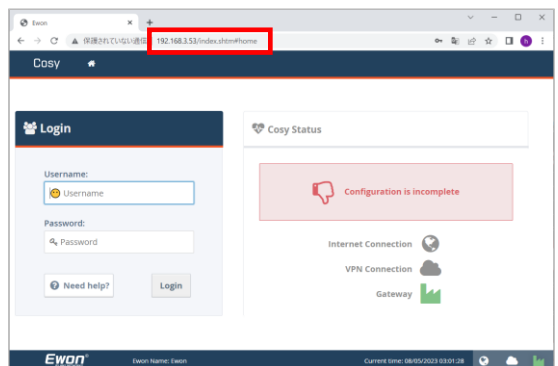
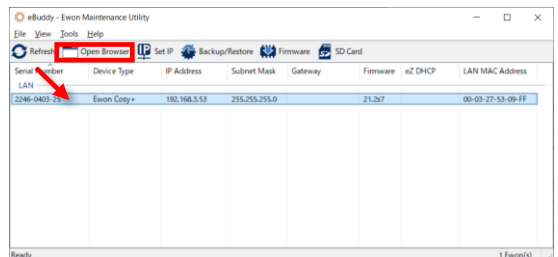
本書では、例として、
「192.168.3.55」を設定しています。



! パソコンとCosy+のIPアドレスは、異なるIPアドレスにしてください。(同じIPアドレスでは通信できません。)

4 Webブラウザの設定画面 (GUI) を開きます。

Ebuddyのリストに表示されたCosy+を選択し、[Open Browser]をクリックします。(または、Webブラウザのアドレスバーに、Cosy+のIPアドレスを直接入力します。)



3.2.1 Cosy+本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

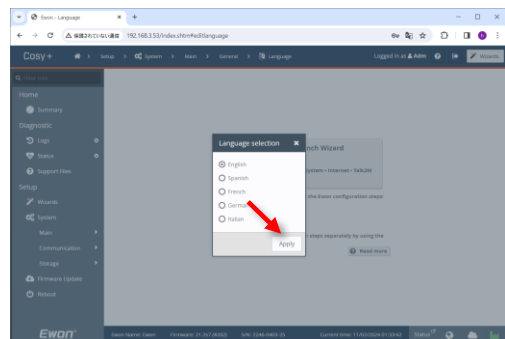
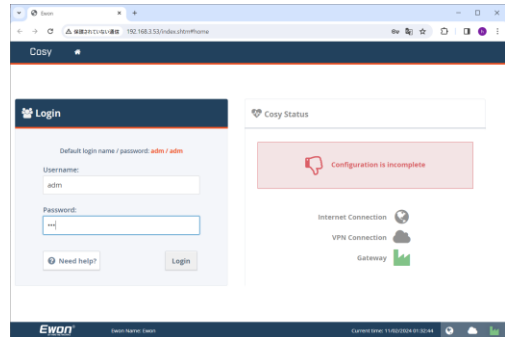
USB / SDカードから本体設定する場合は、p.24へ

- 5 Webブラウザの設定画面 (GUI) にログインします。

デフォルトのログイン情報は以下です。

- Username : adm
- Password : adm

設定画面で使用する言語を選択します。
(日本語はありません。)



ログイン後、新しいパスワードに変更します。

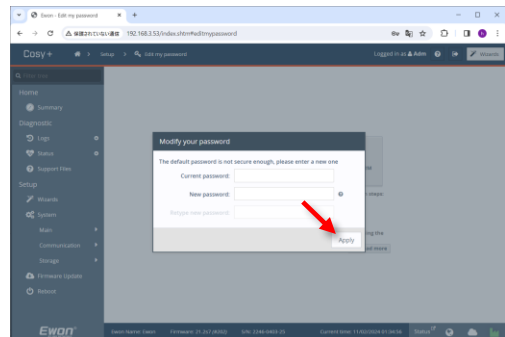
Current password : adm

New password : 新しいパスワード

Retype new password : 上記をもう一度入力

新しいパスワードは、
最低12文字以上で、
大小英字・数字・記号から、3種類以上
を含む必要があります。

*パスワードを忘れた場合はファクトリーリセットを実施して再度設定してください。

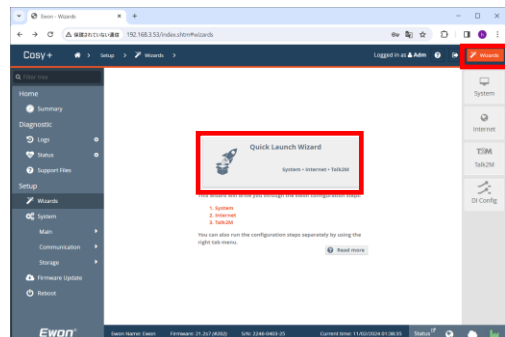


- 6 画面中央の「Quick Launch Wizard」をクリックし、ウィザード画面に従って設定を開始します。
(「Quick Launch Wizard」が表示されない場合、右上の「Wizards」ボタンをクリックします。)

システム : 日付などの基本的なシステム設定

インターネット : WAN側の通信設定

Talk2m : Cosy+本体とTalk2mアカウントを紐づけ
VPN接続を設定



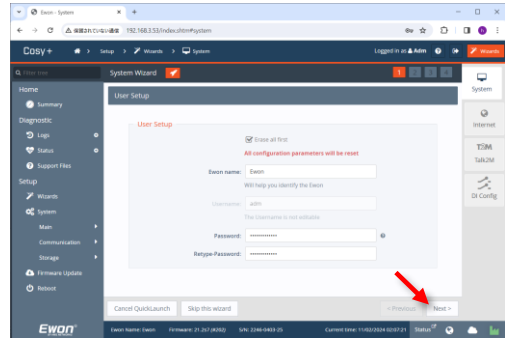
3.2.1 Cosy+本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する場合は、p.24へ

7 システムウィザードでは、基本的なシステム設定をします。

最初の画面では、Ewon 名を入力する画面が表示されますが、特に設定は不要です。

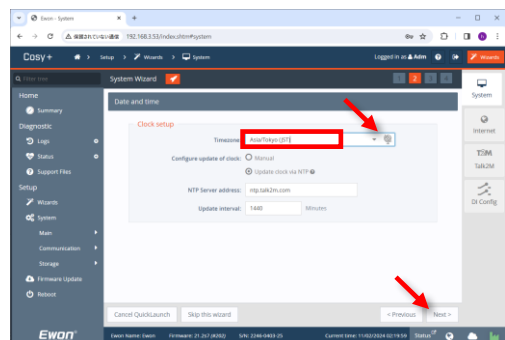
Webブラウザ画面へログインするパスワードを変更することも可能です。



次に、[Timezone](タイムゾーン)で日時を設定します。プルダウンまたは地図アイコンから、Cosy+を使用する国・都市を設定します。Talk2mでは、Cosy+の日付が正しいことが必要です。

日本で使用する場合：「Asia/Tokyo(JST)」

[Configure update of clock] の設定は不要です。デフォルトでは、時刻同期するためのNTPサーバが設定されており、時計の更新に使用される [Update interval](更新間隔)は、1440分(=1日)です。



Ethernetポートの設定をする画面が表示されます。

デフォルトは、以下です。

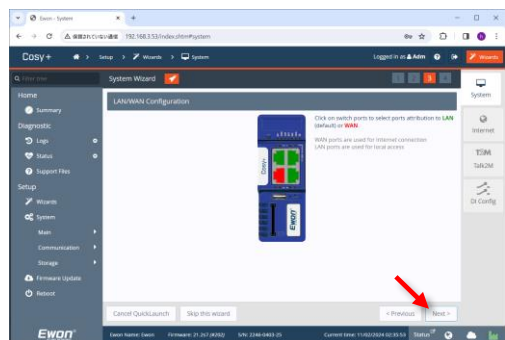
ポート1, 2, 3 = LAN (機器との接続用)

ポート4 = WAN (インターネット接続用)

4Gモデルの場合ポート全てLANに設定することも可能です。

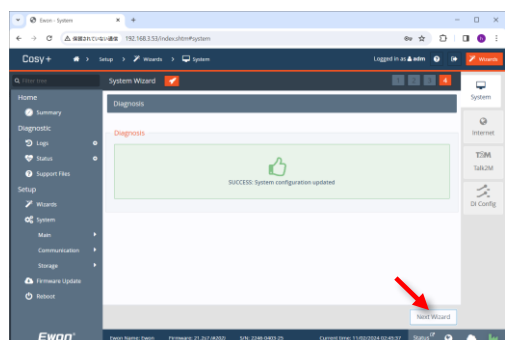
この画面から、各EthernetポートをクリックしてLANまたはWANに変更できます。

※ポート1はWANに設定できず、必ずLANです。



SUCCESS(成功)と表示され、システム設定は完了です。

[Next Wizard]をクリックして、インターネットの設定に進みます。

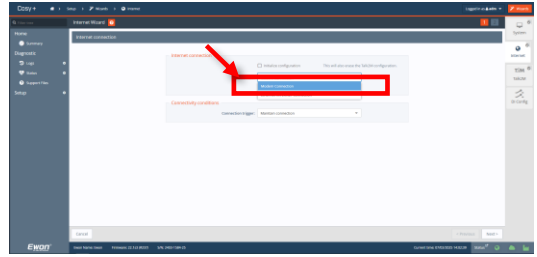


3.2.1 Cosy+本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する場合は、p.24へ

- 8 インターネット ウィザードでは、インターネットに接続するための設定をします。

4Gで接続する場合、
[Modem connection] を選択します。



接続条件の設定を行います。

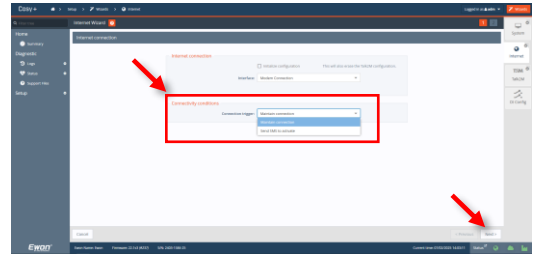
・ Connection trigger

Maintain connection(接続を維持する)

:Cosy+は常にTalk2m に接続しています。万が一インターネット接続が切断された場合、Cosy は再接続しようとします。最も使用されているデフォルトの設定です。

Send SMS to activate(SMSの受信で接続する)

: Cosy+が 4Gでインターネットに接続する場合にしか使用できない設定です。Cosy+は普段 Offline で、携帯電話や Ecatcher から Cosy+に搭載して使用しているSMS対応のSIM カードの電話番号に送信された“Wakeup SMS”を受信した後のみインターネット接続を開始して、Talk2m サーバーへのVPN 接続を確立します。



参考資料(英語)

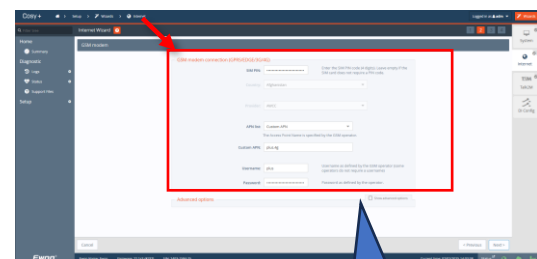
:[How to wake-up a cellular-based Ewon? – HMS Support Portal](#)

APN情報の設定を行います。

APN情報は、モバイルサービスプロバイダによってSIMカードとともに提供されます。

Provider欄やAPN list欄に該当のAPNがないがない場合があるため、APN list欄からCustom APNを選択することでCustom APN欄が追加されるので直接入力してください。

- ・ Custom APN
- ・ Username
- ・ Password



詳細オプションを表示を有効にした場合の設定は次のページ

3.2.1 Cosy+本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する場合は、p.24へ

詳細オプション設定をします。

- ・ **Maximum idle time**

:Cosy+ との間のトラフィックがない場合に、Cosy+ が接続を切断するまでの時間。

- ・ **Maximum call duration**

: インターネット接続時間の制限。この時間を過ぎると、Cosy+の接続が自動的に切断されます。

- 「Connection trigger」パラメータを「**Maintain connection**」に設定した場合は、インターネット接続が切断された後で、Cosy は自動的に再接続しようとします。「Maximum call duration」を「0」分に設定して下さい。(0分=制限なし)

- 「Connection trigger」パラメータを「**Send SMS to wake up**」に設定した場合は、インターネット接続が切断された後で、Cosy は再接続しないで、“Wakeup SMS”を受信するまで切断された状態のままとなります。

- ・ **Connectvity type** : 通信規格の種類の選択。

- 4G/3G automatic//4G only//3G only

*デフォルトの4G/3G automaticで問題ありません。

詳細オプションを表示



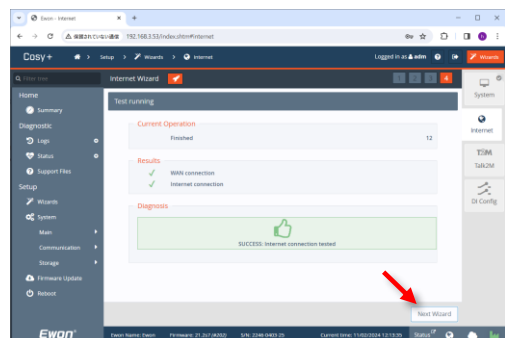
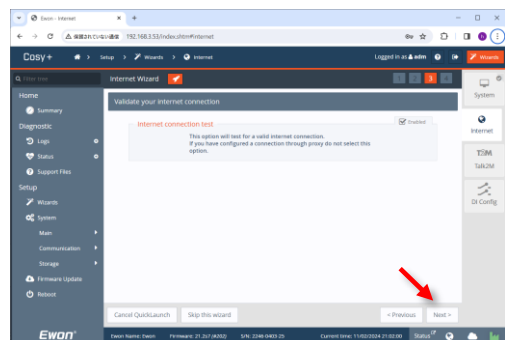
続いてインターネット接続のテストをします。

デフォルトでは、[Internet connection test]にチェックが入っています。

接続テストが不要な場合、または、プロキシサーバー経由のインターネット接続の場合は、チェックを外してください。

SUCCESS(成功)と表示され、インターネットの設定は完了です。

[Next Wizard]をクリックして、Talk2mの設定に進みます。



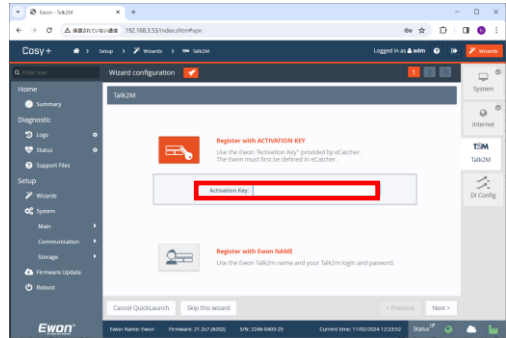
SUCCESSにならない場合は、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバの設定が誤っている可能性があります。また、Cosy+のLAN側IPとWAN側のIPアドレスが、同じセグメントに含まれている場合もインターネット接続に失敗します。この場合は、LAN側IPとWAN側のIPが異なるセグメントになるよう、どちらかのIPアドレスを変更してください。

3.2.1 Cosy+本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する場合は、p.24へ

- 9 Talk2mウィザードでは、Cosy+本体とTalk2mサーバー上のTalk2mアカウントとを紐づけ、VPN接続の設定をします。

[アクティベーションキー]を入力する画面が表示されます。



Ecatcherを開き、2.2で登録したCosy+を選択します。

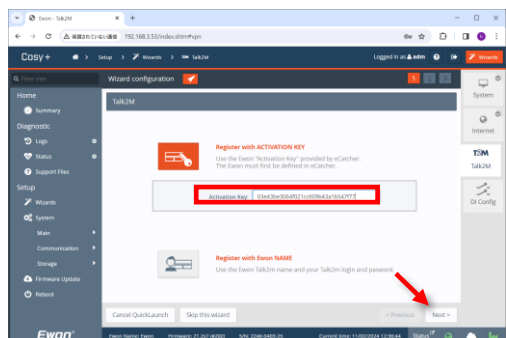
[プロパティ]→[Talk2m接続性]をクリックします。



表示されたアクティベーションキーを、[クリップボードにコピー]します。



先ほどのWebブラウザの設定画面に、アクティベーションキーを貼り付けます。

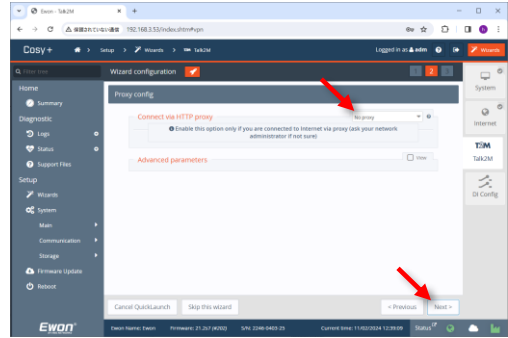


3.2.1 Cosy+本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する場合は、p.24へ

続いて、プロキシの設定をします。
デフォルトでは、[No proxy]です。
多くの場合、変更不要です。

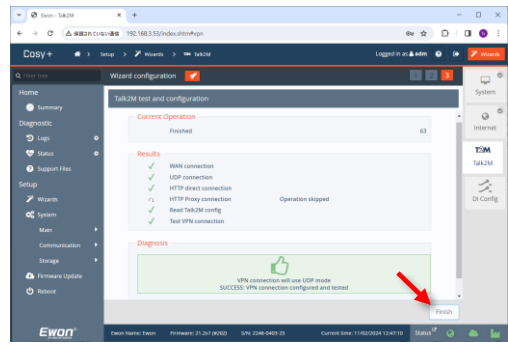
Cosy+がプロキシサーバー経由でインターネットに接続する場合は、プロキシと認証のモードを選択します。
プロキシサーバーの情報については、ITネットワーク管理者に問い合わせてください



Talk2mの接続テストを行い、設定は完了です。

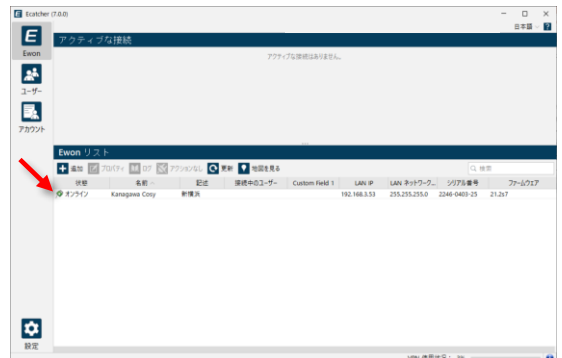
! 以前にこのCosy+が、別のTalk2mアカウントに紐づいている場合、Read Talk2M config でエラーになり、“Talk2M access denied”と表示されます。この場合は、以前のTalk2mアカウントからの紐づけを解除する必要があります。

また、ファイアウォールやプロキシでブロックされる場合も同じエラーが表示されます。この場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。



Ecatcherから、[Ewonリストに戻る]をクリックし、Cosy+本体が、オンラインになっていることを確認します。

これですべての設定が完了です。



3.2.2 Cosy+本体の設定をする (USB/SDカード)

内蔵Webブラウザの設定画面(GUI)から本体設定する場合は、p.15へ

- 1 Ecatcherを開き、2.2で登録したCosy+を選択します。
[プロパティ]→[Talk2m接続性]をクリックします。

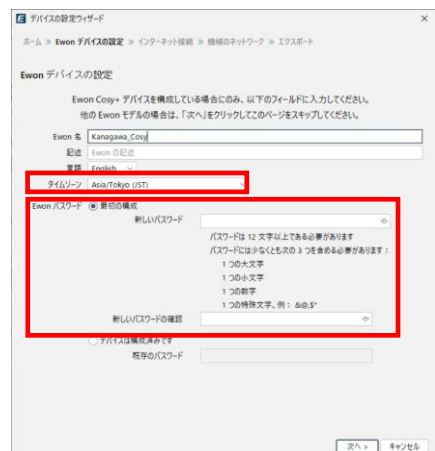


- 2 「USB / SD カード」欄の [セットアップ ウィザードを起動] をクリックして、簡単セットアップウィザードを起動します。



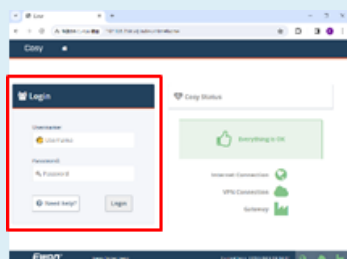
ここから設定用ファイルを作成して、USBドライブまたはSDカードに保存して、Cosy+本体に装着するだけで設定ができます。

- 3 「デバイスの設定ウィザード」の最初のステップでは、内部時計のタイムゾーンと、Webブラウザの設定画面(GUI)のログインパスワードの設定をします。



Webブラウザの設定画面(GUI)は、パソコンとCosy+本体をLANケーブルで接続して、Cosy+のIPアドレスを指定します。

左で設定したパスワードは、以下のログイン画面で使用します。



3.2.2 Cosy+本体の設定をする (USB/SDカード)

内蔵Webブラウザの設定画面(GUI)から本体設定する場合は、p.15へ

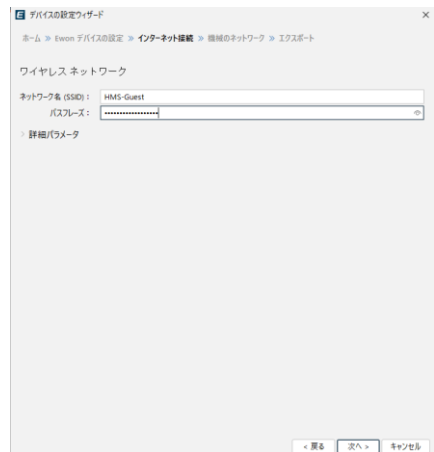
- 4** 次に、Cosy+本体のインターネットへの接続方法を選択します。

「Wifi」をクリックし、ウィザードに従って設定します。



- 5** ワイヤレスネットワークを設定します。

使用するネットワーク名(SSID)とパスワードを入力します。



- 6** Cosy+のLAN側IPアドレスを設定します。

※Cosy+本体のデフォルトのIPアドレスは、「10.0.0.53 / 255.255.255.0」です。

本書の構成では、Cosy+本体の LAN IP は「192.168.3.53 / 255.255.255.0」に設定します。

i IPアドレスについて確認:

- Cosy+本体には 2 つの異なる IP アドレスがあります。
- インターネットへ接続するためのWAN IP アドレス。
 - PLC、HMI、カメラなどの機器との接続するための LAN IP アドレス。

(注意) Cosy+本体のLAN側とWAN側のIPアドレスが同じセグメント (例 : 192.168.3.XX) にある場合は、接続できません。

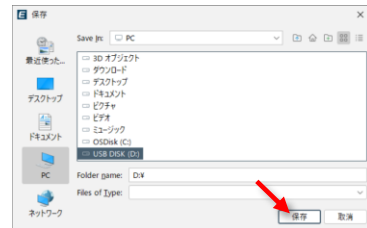


3.2.2 Cosy+本体の設定をする (USB/SDカード)

内蔵Webブラウザの設定画面(GUI)から本体設定する場合は、p.15へ

- 7 これですべてのセットアップウィザードが完了し、構成ファイル「comcfg.txt」が作成されます。

このファイルを、USBドライブまたはSDカードに保存します。
(パソコンに保存して後で使うこともできます。)



- 8 設定ファイルを USBドライブまたはSDカードに保存すると、右のようにCosy+本体に設定する手順が表示されます。

- 9 Cosy+本体にUSBドライブまたはSDカードを挿し、Cosy+本体のUSR LEDが緑色に点灯するまで待ちます。点灯したら、取り外します。

Cosy+本体が再起動し、Talk2mとの接続を確立してテストします。(この操作が完了するまでに数分かかります。)

Cosy+本体のTalk2m LED (緑色にゆっくり点滅)が確認できたら、完了です。



[閉じる]をクリックして、セットアップウィザードを閉じます。

- 10 「Ewon」をクリックすると、Ecatcherのメイン画面に戻ります。

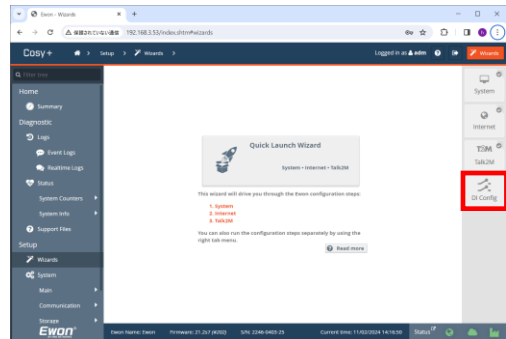
EwonリストのCosy+が「オンライン」と表示されていることを確認します。



3.2.3 DI(デジタル入力)の設定をする

- 1 Cosy+本体とパソコンを接続し、内蔵Webブラウザ設定画面(GUI)にログインします。
(3.2.2 Cosy+本体の設定をする ①～⑤ 参照)

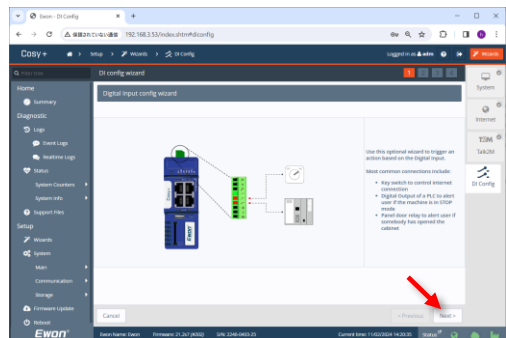
ウィザードの[DI Config]をクリックします。



- 2 DI1(KEY)は、以下の3種類の設定が可能です。
使用する場合は[Enabled]にチェックを入れます。

Remote access control (リモートアクセス制御) :

Cosy+のインターネット接続を制御できます。
DIにキースイッチ等を接続し、DIに信号が入った時のみ、接続が有効になります。

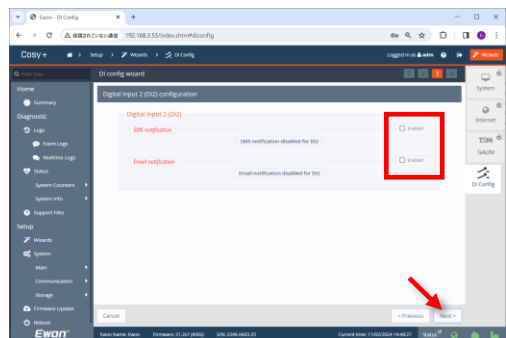
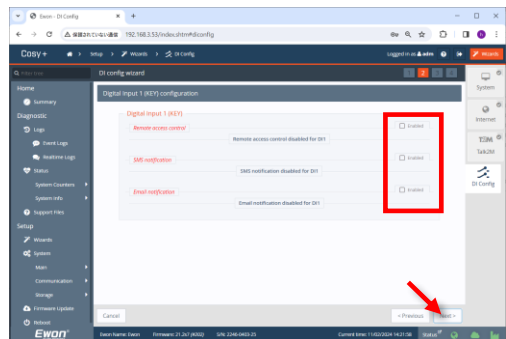


SMS notification (SMS通知) :

- SMSによる通知ができます。(有償ライセンス要)
- 電話番号：最大40文字(カンマで複数指定可能)
- 本文：134文字
(日本語には対応していません)

Email notification (メール通知) :

- メールによる通知ができます。
- 宛先アドレス：最大80文字
(カンマで複数指定可能)
- 件名：34文字
- 本文：134文字
(件名、本文ともに日本語には対応していません)



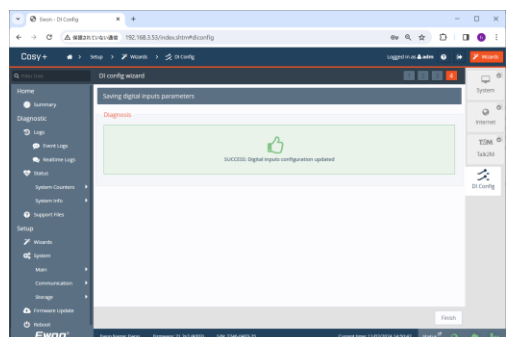
DIの入力を単にメール送信のトリガーとして利用し、VPNは常時有効とする場合にはチェックを入れないでください。チェックを入れた場合は、DIに入力がある場合にのみVPNが利用できます。

- 3 DI2(DI2)は、以下の2種類の設定が可能です。

SMS notification (SMS通知) :

Email notification (メール通知) :

SUCCESSが表示され、設定を完了します。



4. リモートアクセスの確認

4.1 Cosy+経由で接続機器へ接続する

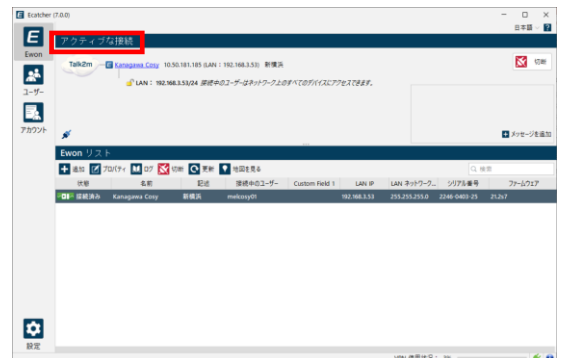
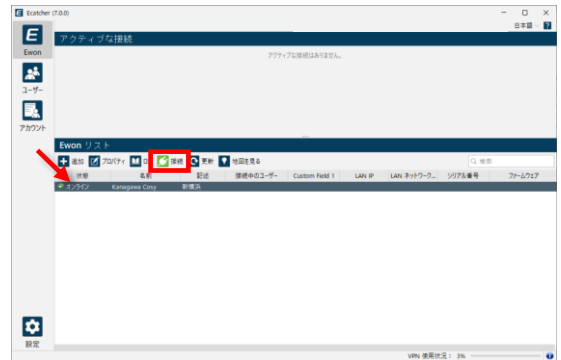
1 パソコンがインターネットに接続されていることを確認して、Ecatcherを起動、ログインします。

2 [Ewonリスト]から、接続したいCosy+を選択します。

緑色の[接続]ボタンをクリックして接続します。
Ecatcherを使用して、パソコンからCosy+へ安全なVPN 接続を確立します。

3 VPN 接続が確立されると、Ecatcherの「アクティブな接続」欄にCosy+ が表示されます。

これで、Cosy+のLAN側に接続されているPLCやHMI、IPカメラ等にアクセスできます。



! [接続]ボタンをクリックしても、状態の欄が「接続中」にならず、VPNトンネルエラーとなる原因として次のようなケースがあります。

- ・ EcatcherからTalk2mサーバへのアクセスが、ファイアウォールなどでブロックされている
→別の経路（WiFiや有線LAN）を使ってパソコンをインターネットに接続するか、ネットワーク管理者にご確認ください。
- ・ Ecatcherのインストールが正常に完了していない
→一度 Ecatcherをアンインストールし、再インストールをお願いします。

復旧しない場合は巻末の手順をお試しください



Cosy+のLAN側の接続機器を登録して、Ecatcherの画面に表示したり、登録した機器にのみ接続を許可する設定もできます。

Ecatcherで該当のCosy+を選択し、[プロパティ] → [LANとファイアウォール] → [LAN]デバイスとファイアウォールの設定をクリックします。

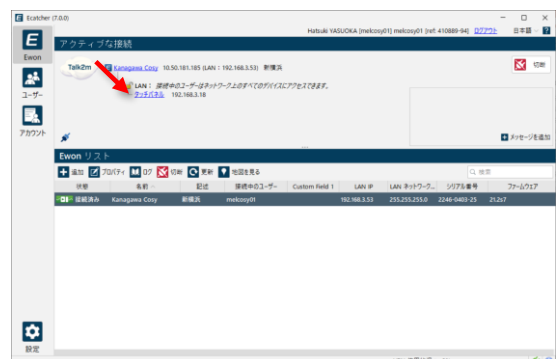
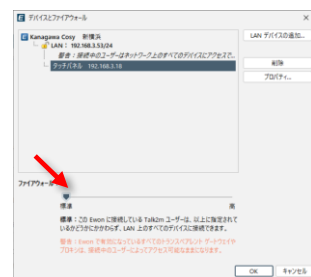
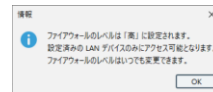
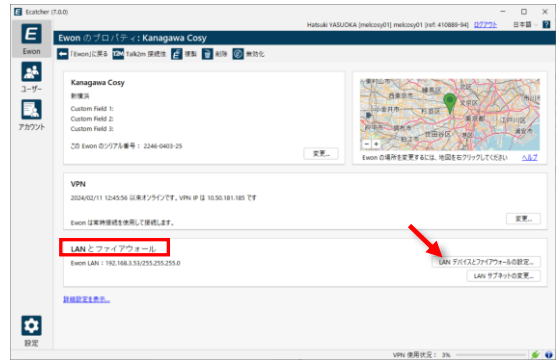
[LANデバイスの追加]をクリックし、表示したい機器の情報を入力します。

[OK]をクリックすると、ファイアウォールの設定が変更されたことを通知するメッセージが表示されます。

LAN側のすべての機器に接続する場合は、「標準」に変更します。

設定した機器のみへ接続する場合は、「高」のままにします。

次のログイン後に設定が反映されます。



4.2 接続方法

Cosy+を使用したリモートアクセスには、以下の接続方法があります。

Ecatcher:

Windows用 EwonのVPN クライアントソフトウェア。Talk2mアカウント管理ツールでもあり、アカウント管理者は、Ecatcherを使用して、ユーザーやCosy+の追加や削除など、Talk2mアカウントを管理できます。



Ecatcher mobile:

Android および iOS 用の Ewon の VPN クライアントアプリケーション

- eCatcher Mobile App: Connect to an Ewon
<https://resources.ewon.biz/aug-0072>



M2Web:

Web ブラウザを使用して、Web サーバーなどへ接続。特別なソフトウェアは不要で、
<https://m2web.talk2m.com> からアクセスできます。

- M2Web Platform
<https://resources.ewon.biz/aug-0058>



付録)

1. 仕様

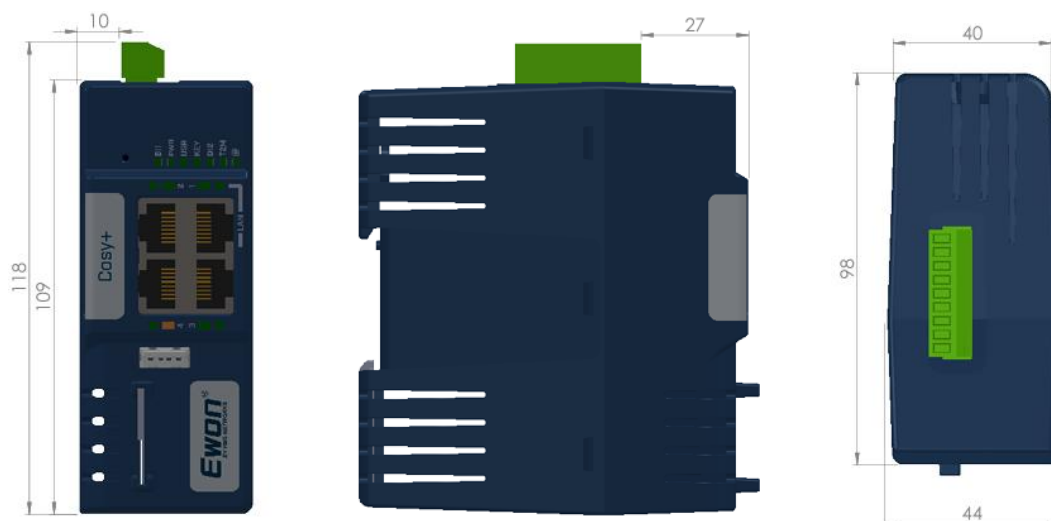
1-1 一般仕様

項目	仕様
電源	DC 12~24V(+/-20%)
最大消費電力	30W以下
使用周囲温度	-25℃~60℃
使用周囲湿度	10~95% (結露しないこと)
保存周囲温度	-30℃~70℃
保存周囲湿度	10~95% (結露しないこと)
保護構造	IP20
外形寸法	109(H) × 99(D) × 44(W) mm
質量	218 g
認証規格	cULus, Japan
保証期間	36か月

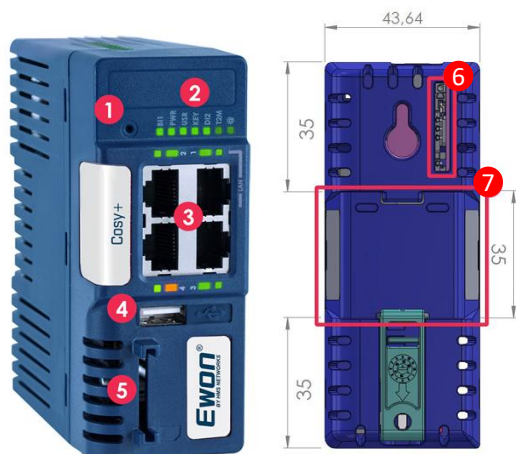
1-2 性能仕様

項目	仕様
WAN通信	Ethernet (10/100 Mbps)
WAN Ethernet	最大3ポート (デフォルトでは、ポート4)
LAN Ethernet	最大4ポート (デフォルトでは、ポート1~3)
入力 / 出力	2×DI (通知送信用、接続制御用) / 1×DO (接続表示用)
USB	○ USB 2.0 (TypeA)
SDカード	○ (設定書込み、ファームウェアアップデート用)

2. 外形寸法図 (単位 : mm)



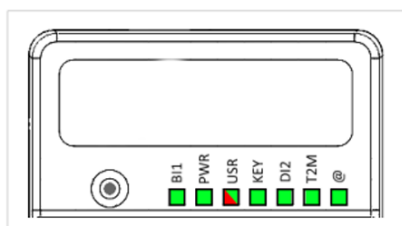
3. 各部の名称



番号	仕様
1	リセットボタン
2	LEDステータスランプ
3	LAN/WAN Ethernet ポート ・オレンジ：WANポート・緑：LANポート
4	USBスロット
5	SDカードスロット
6	SIMカードスロット
7	DINレール取り付けブラケット

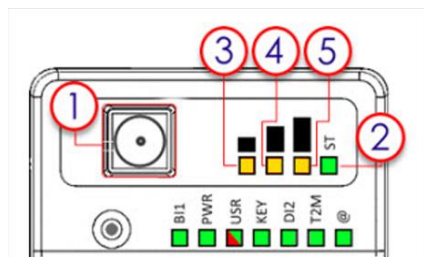
4. LEDランプ

4-1. LEDステータス



番号	仕様
BI1	リセットボタン 緑 = リセットボタン押下中
PWR	電源 緑 = 電源ON
USR	ユーザー 緑 ゆっくり点滅 = OK、 赤 = 特別な注意が必要（ビジーやエラーなど）
KEY	デジタル入力1 緑 = デジタル入力1(DI1) 信号検出
DI2	デジタル入力2 緑 = デジタル入力2(DI2) 信号検出
T2M	Talk2m 緑 点灯 = Cosy+はTalk2mへ接続されているが、ユーザーは未接続 緑 点滅 = Cosy+がTalk2mへ接続され、ユーザーが接続中
@	インターネット 緑 = インターネットに接続

4-2. モデム内蔵の Ewon® Cosy+ のLEDステータス

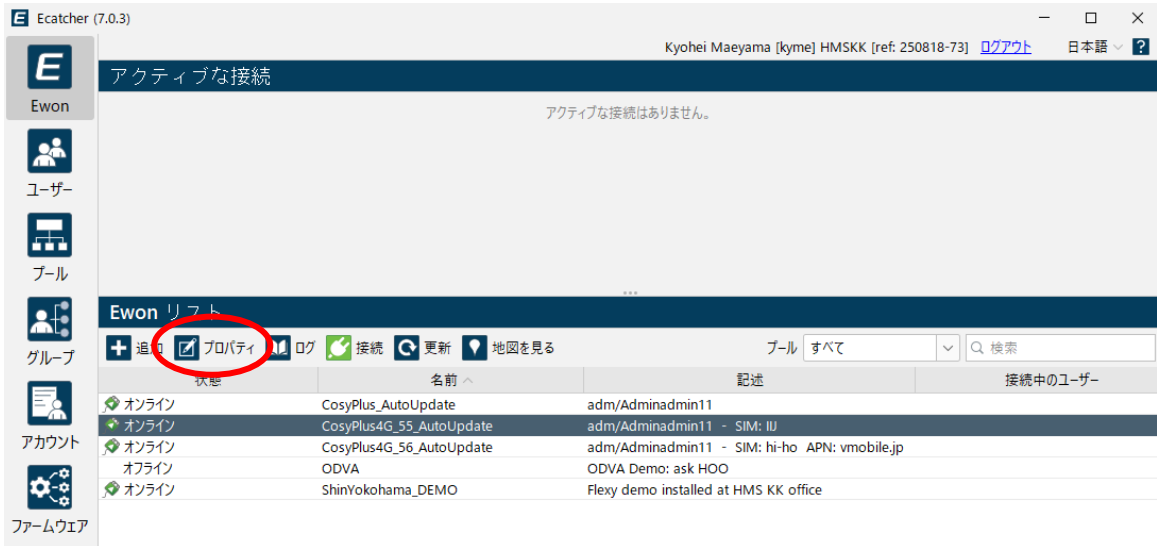


番号	仕様
1	コネクタ(WiFi用または4Gアンテナ用)
2	モデムの状態 <ul style="list-style-type: none"> ● 緑に点灯 = 接続済み ● 緑に点滅 = ローカル Wi-Fi アクセス ポイントが有効
3	受信電波レベル オレンジ点灯 = 電波不良
4	受信電波レベル オレンジ点灯 = 電波正常
5	受信信号レベル オレンジ点灯 = 電波良好

5. トラブルシューティング

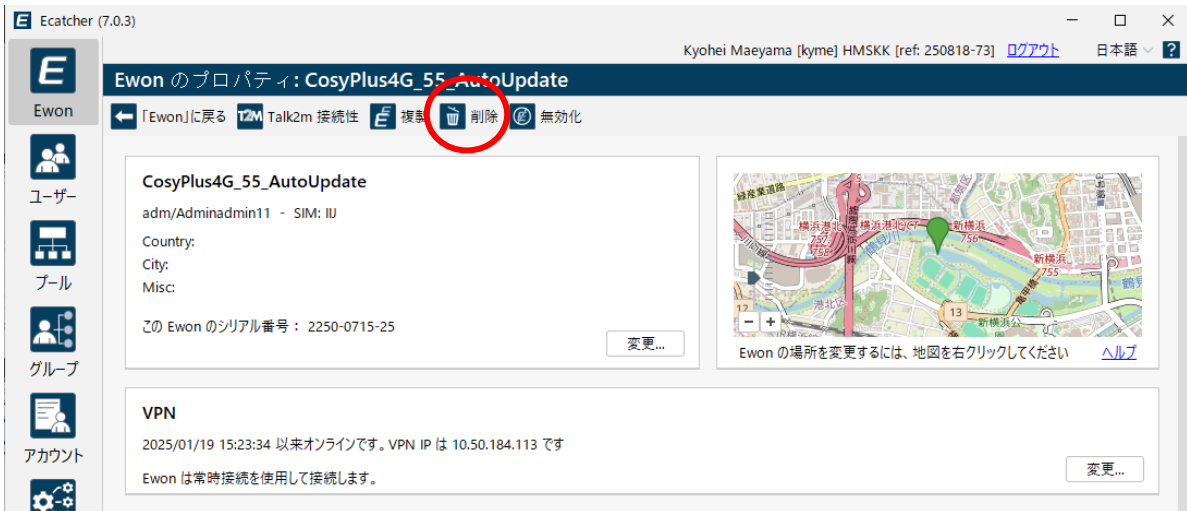
5-1. Talk2mアカウントからEwon機器の紐づけを解除したい場合

① Ecatcherにログインし、紐づけ解除したい機器を選択し、【プロパティ】を押下



② 【削除】 ボタンを押下することでこのアカウントから紐づけが解除されます。

*このアカウントからの紐づけを解除することで別のアカウントにEwon製品を登録することができます



5-2. 以前使用していたアカウントやそのパスワードがわからなくなった場合 (Talk2mアカウントの紐づけを解除したい場合)

①下記リンクの申請用紙 (Device Unlock Request.pdf) に必要事項を記入してください。(申請用紙はEwon1台ごとに1部必要です。英語のみとなりますので、記入内容につきましては以下右の訳をご確認ください。)

[Talk2M Device Unlock Request Form](#)

Ewon
BY HMS NETWORKS

Talk2m
Ewon Industrial Cloud

Device Unlock Request

Request to unlock Ewon device from linked Talk2m account

EWON SERIAL NUMBER:

Requester identification

NAME:

COMPANY NAME:

EMAIL:

Share more details and reason behind the inability to activate Ewon device:

By checking this option, I agree that HMS contacts the Administrator of the existing Talk2m account and share my data and the contents of this request with him

Scan the QR code to contact Ewon support

HMS

Ewon
BY HMS NETWORKS

Talk2m
Ewon Industrial Cloud

デバイスのロック解除リクエスト

Talk2m アカウントに紐づいたEwonデバイスのロック解除を申請します。

シリアルナンバー

申請者情報

氏名

会社名

メール

既存のアカウントから機器の削除ができない理由

HMSが、Talk2m アカウントの管理者に確認を行い、本申請に関する内容を共有することに同意します。

Scan the QR code to contact Ewon support

HMS

②[HMSテクニカルサポート](#)から、「リクエストを送信する」をクリックして、サポートチケットを登録します。

HMS テクニカルサポート
サポートチケットを登録・管理できます

どのようなご用件でしょうか?

リクエストを送信する または 自分のチケットを確認する

③リクエスト送信画面で、製品ブランド「Ewon」、製品グループ「Talk2m Account Changes」を選択し、手順 1. で作成した申請用紙を添付してください。

リクエストを送信

件名

説明

T B I ☰ ☰ 📎 🔗 🗑️ 🔍

リクエストの詳細を入力してください。サポートスタッフのメンバーができるだけ早く対応いたします。

製品ブランド

製品グループ

製品番号 (オプション)

シリアル番号 (オプション)

リビジョン (オプション)

関連する case ID 番号 (オプション)

添付ファイル (オプション)

ファイルを追加またはここにファイルをドロップ

送信

④リクエストフォームの「送信」を押して完了です。リクエストが承認されると、申請を行ったEwonは全てのTalk2mアカウントから紐づけ解除されます。

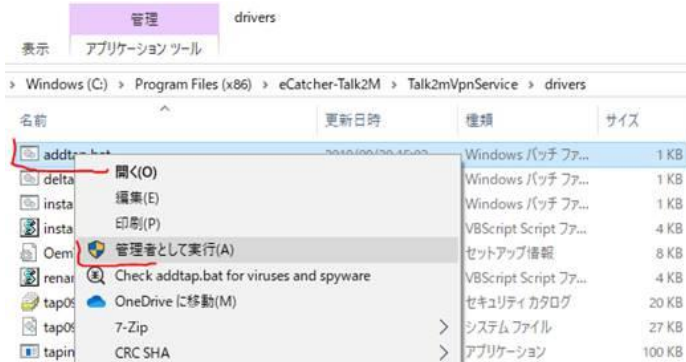
(参考)

[How to request an Ewon device to be unlocked](#)

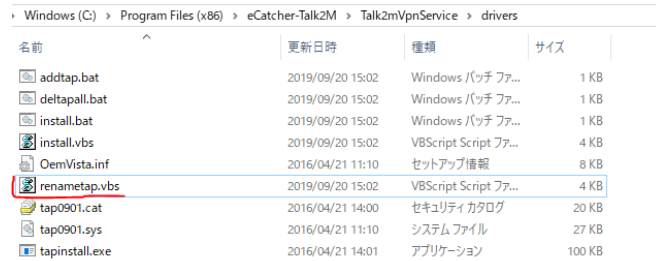
5-3. EcatcherにてVPNトンネルエラーとなった場合

○Ecatcher のバージョンがv7.0.1以前の場合

①以下フォルダにアクセスし、フォルダ内にある【addtap.bat】を管理者権限で実行してください。
C:¥Program Files (x86)¥eCatcher-Talk2M¥Talk2mVpnService¥drivers



②次に同じフォルダにある【renametap.vbs】を実行してください。



○Ecatcherのバージョンが v7.0.2以降の場合

①Windowのスタートメニューから【PowerShell】を入力して右クリックにて【管理者として実行】を押して実行してください。

②「cd 'C:¥Program Files (x86)¥eCatcher-Talk2M¥Talk2mVpnService¥drivers' 」と入力してディレクトリを移動してください。

```
PS C:\Users\kyme> cd 'C:\Program Files (x86)\eCatcher-Talk2M\Talk2mVpnService\drivers'
```

③【.¥install.ps1】を入力して実行してください。

```
PS C:\Program Files (x86)\eCatcher-Talk2M\Talk2mVpnService\drivers> .\install.ps1
```

④ネットワーク接続欄にTAP-Windows Adapterがインストールされているか確認して再度VPNの接続を試してください。

■コントロールパネル>>ネットワークとインターネット>>ネットワーク接続



▼上記内容で改善しない場合、以下を実行してください。

- ①スタートボタンを右クリックして【デバイスマネージャー】を開く。

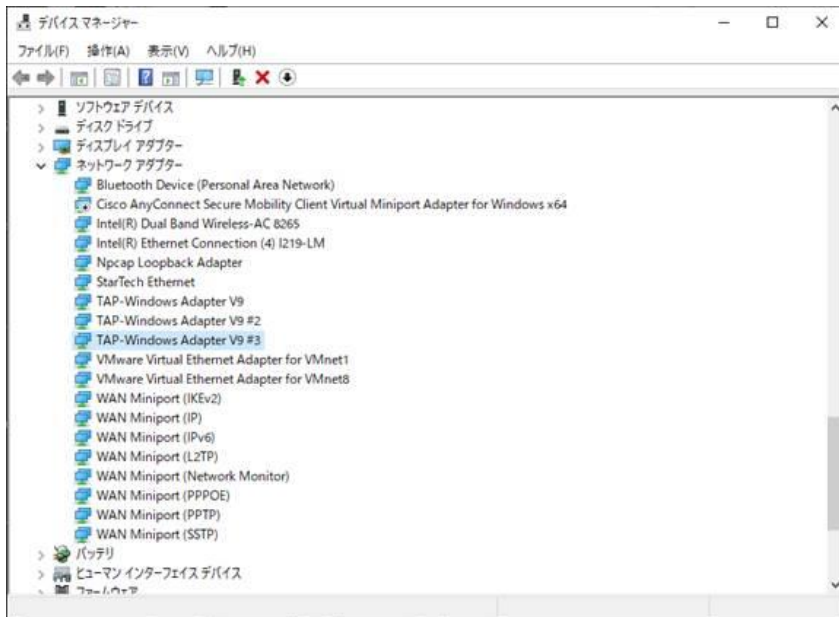


- ②ネットワークアダプターにTAP-Windows Adapter V9 が下図のように#2, #3などと複数存在する場合は接続に失敗します。
この場合は一度まずEcatcherをアンインストールします。

次にデバイスマネージャーからTAP-Windows Adapter V9で始まるものをすべて削除します。

その上でもう一度Ecatcherをインストールすることで本問題は解消できます。

***TAP-Windows Adapter V9 がない場合も同様にEcatcherをアンインストール/再インストールをして改善があるか確認願います。**





HMSインダストリアルネットワークス株式会社
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-3
新横浜KSビル6F

<https://www.hms-networks.com/home>